

通知票を「子どもを励ますきっかけ」に！

学校長

本校では、全教師が研究授業を年間で一回以上は行い、他の多くの教師から指導・助言を受け、授業の質的向上を図っています。今、各学級を訪れると、どのクラスでも子どもたちは熱心に学習に取り組んでいる様子を見ることができます。授業に真剣にのぞんでいる子どもたちの姿に感動することが多々ある日々です。

さて、二学期末となり、通知票をお渡しする時期となりました。ここで、昨年も掲載いたしました「子どもを励ますきっかけ」にしたいと、ぜひ、通知票を自信を持たせてほしいと思っています。

学校教育法（第30条2項）には、小学校教育で特に意を用いて指導しなければならぬこととして、学力の重要な三つの要素が示されています。それは、①基礎的な知識・技能の習得 ②知識・技能を活用して課題を解決するに必要な思考力・判断力・表現力等の能力 ③学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）です。

通知票の学習の記録の欄には、これら①②③の学力の観点から見たお子さんの状況が記載してあります。「よかった、悪かった」とだけ、見るのではなく、どの教科のどんな学力で子どもが発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、子どもの努力の様子を御確認ください。また、行動の記録では、あいさつなどの基本的な生活習慣、人や自然とのかわり方、約束やきまりを守っているか、仕事への取り組みなどの面から評価し記載しています。行動の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。

たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていくのではないのでしょうか。通知票をひとつのきっかけとして、学校生活について子どもと会話を交わす機会とし、学習面、行動面のよさを認め励ます機会にしていきたいと考えております。



## 授業参観・バザー



11月21日、5校時に授業参観、その後、体育館でバザーが開催されました。授業参観では、たくさんの保護者の方に参観していただきました。また、バザーでは、早くからPTA役員の方々に準備をしていただき、盛大なバザーを開くことができました。たくさんの方の御協力、本当にありがとうございました。収益金は、学校教育のために活用させていただきます。



### 学校課題の解決に向けて

学習指導主任

共に学び共に伸びる児童の育成

「豊かな心」と土台にした学び合う授業の実践と通して」

今年度の学校課題解決に向けたこれまでの取り組みをお知らせいたします。

#### ① 学業指導の充実を図る。

ア 安心感のある学級づくり「温かさ」については、規範意識を高めるためにルールブックを学級で活用したり、一人一人の自己有用感を高める言葉かけをしたり、居心地のよい学級づくりを心がけたりした結果、一回目のアンケート（学級満足度・自己有用感）に比べて、ほとんどの学級で向上が見られました。

イ 分かりやすい授業づくり「真剣さ」については、通常学級における特別支援教育の視点を授業の中にとり入れ、多様な教育的ニーズに応える工夫をします。具体的には、日々の授業をユニバーサルデザイン化する（見やすく、教える内容を絞って、学びを共有しながら）、算数で少人数指導や習熟度を考慮したコース別学習を実施する、既習内容の不十分な児童に学び直しの時間を設ける（サンサン学習）などです。学習ボランティアや学校支援地域協議会の学習指導部のみならず、個別の学習支援に御協力いただいています。

また、昨年度から二年間、東原中学校区で「今三・今小・東原中」小中一貫教育の研究を進めてきました。「コミュニケーション力の育成」を研究主題にし、互いに授業を公開したり、授業研究会を行ったりして、学び合いのある授業展開を工夫してきました。三学期にその研究成果をまとめる予定です。

#### ② 校内研修の充実を図る。

一人一研究ということで、各自がテーマをもって授業改善に取り組んでいます。全員が研究授業公開授業を実施するということで三分の二が終了しました。これから研究のまとめに入ります。また、教師の授業力向上のために、県の学力向上アドバイザーに来ていただいて講話を聞いたり、秋田の能代市立湊城西小学校の視察研修報告を受けて秋田に学ぶ研修会を行いました。

「不易と流行」という言葉がありますが、教育にも昔から変わらないものと、その時々で変えていかなければならないものがあります。今年から始まった様々な学力向上プランについては、成果と課題を検証し、次年度に向けてよりよいものに改善していきたいと考えております。引き続き保護者のみなさまの御理解と御協力をお願いします。



# 時間走記録会・持久走大会



12月3日、時間走記録会・持久走大会がありました。一人ひとりが、自分の目標をもって練習し、参加しました。たくさんの温かい応援ありがとうございました。

## 一年生

きんじかんそうきろくかいはのほんばんは、ちよっと  
かっけんどうしうまははしるまねおなかがい  
中たばんとおまははことたのきまな女のた  
もちがんとおまははことたのきまな女のた  
ようにとりやんとおまはははよりねきとせはし  
ようにしたいです。こまとしたよりねきとせはし  
る

一組 O・N

きょうのじかんそうは、とてもきんちようしま  
てもつかれたので、ここであきらめちゃうと  
くられたので、ここであきらめちゃうと  
がくはははははははははははははははははは  
ばりはははははははははははははははははは  
り

二組 K・T

はじめてのじかんそう大会で、とてもドキドキ  
しました。スタートのところで、とてもドキドキ  
てかかたかったです。スタートのところで、とても  
上がったので、スタートのところで、とても  
り

三組 F・T

## 二年生

時間走は、いそがしいな。時間走は、いそがしいな。  
うんたは、いそがしいな。うんたは、いそがしいな。  
たんだは、いそがしいな。たんだは、いそがしいな。

一組 T・A

なれは、いそがしいな。なれは、いそがしいな。  
うんたは、いそがしいな。うんたは、いそがしいな。  
たんだは、いそがしいな。たんだは、いそがしいな。

二組 K・R

時間走は、いそがしいな。時間走は、いそがしいな。  
うんたは、いそがしいな。うんたは、いそがしいな。  
たんだは、いそがしいな。たんだは、いそがしいな。

三組 S・K

## 三年生

ぼくがちようせんした種目は、時間走です。記録  
は、千二百メートルでした。ぼくは、半分ぐらいま  
で走ると、むねがすくいたくなり、「もうだめだ。  
もうやめよう。」と思いました。でも、コースの外  
側から、「がんばれー!」と、応援してくれられた声  
が聞こえ、最後まであきらめずに走りきることがで  
きました。応援してくれただみなさん。ありがとうございました。

一組 K・S

わたしは、走るのあまりとくいではありません。  
練習のときは、じゅんいがさいこの方でした。けれ  
ど、みんながおうえんしてくれてがんばれました。  
走っているとき、「ハッ、ハッ」と息がくるしく  
なりました。走りながら、みんなもがんばっている  
なと思いました。さいごまで走ってゴールしたとき、  
みんなえがおでした。わたしも、とてもうれしくな  
りました。

二組 K・K

## 四年生

私は時間走を選びました。なぜ時間走を選んだかとい  
と、私は目標をたっせいするためにがんばるのが好きだか  
らです。そして本番の日が来ました。私の目標は九百メ  
ートルです。走るときには同じ速さで走るようにしました。  
そうしたらどんどん進めました。走り終えてその結果は八  
百五メートルでした。目標まではとどかなかったけど自  
分の力を出しきれたのでよかったです。

一組 I・A

ぼくは時間走をがんばりました。毎朝練習を続けました。  
つらいときもあつたけれど、三年生のころよりも速くなっ  
たのが感じられて、がんばることができました。本番の日  
は、体が軽くて「たくさん走れそうだ」と思いました。練  
習は、五分で千メートルも走ることができました。練習の  
成果を出し切ることができて、とてもうれしかったです。

二組 T・K

## 五年生

持久走大会は、今年で五回目です。毎年一位を目指し  
てきましたが、なかなか出来ませんでした。  
当日の朝、母が  
「楽しく走ってくればいいよ。」  
とはげましてくれて勇気ができました。  
スタートの時はドキドキしましたが、走っているうち  
に足も体も軽く感じ、思いきり走ることができ一位をと  
ることができました。なんとかがんばりぬくことができ  
て、本当に満足し、うれしかったです。

二組 T・H

私は、時間走の五分を走りました。スタートの時はき  
んちようしたけど、走りはじまると、きんちようもほく  
れて気持ちよく走ることができました。同じペースで走  
ることができ、五分で千メートル走ることができてうれ  
しかったです。昨年よりも多く走れて、自分が成長した  
ことがよく分かりました。  
昨年よりも楽しい時間走でした。来年は、千三百五十  
メートルを目指してがんばりたいです。

三組 T・A

## 六年生

私は持久走大会に出ました。今年最後で、三年、四年、五年  
と一位で新記録を取ってきたので、今年も一位を取りたいとい  
う気持ちで練習してきました。  
本番では緊張し、よいタイムが出せるか心配でした。でも、  
たくさんの人が応援してくれたので、最後まで一生懸命走るこ  
とができ、一位で新記録を取ることができました。六年最後だ  
ったのでとてもよい思い出になりました。二組 S・K

二組 S・K

六年生最後の持久走大会で一位をとれてとてもうれしかった  
です。この持久走大会のためにほぼ毎日練習しました。三・四  
年と一位をとって、五年生では絶対一位をとれませんでした。  
とてもよく走って六年生では絶対一位をとってやると思っ  
て練習した結果一位をとることができました。新記録はだせな  
かっただけれど、最後の持久走一位をとれてとてもうれしかったです。  
三組 T・K

三組 T・K



絵本作家  
藤本もひこさ  
による読み聞かせ会を開催しました。絵本を  
作らせた喜びや楽しみが伝わりました。



「思いやり週間」  
12/1～12/5  
「温かい聞き方・  
優しい話し方をして  
よう。」をめぐりに  
して全校一斉に  
取り組みました。  
また、人権に関  
するDVDを視聴し、  
人権意識を高  
めました。



